

高知放送

活動名	すこやか WINTER2026「読み聞かせ」
実施期間	令和 8 年 2 月 21 日・22 日
実施回数	4 回（一日 2 回）

【事業実施の成果・課題】

<コンテンツ部 清水崇義>

イベント初日のため午前の部は 7 割程度、午後の部は満席（約 30 人）となった。ステージ上での読み聞かせのため親子連れや子どもだけでの参加もあった。本の中身がもっと参加者に見えやすい工夫が必要だった。

<コンテンツ部 窪田英一郎>

午前の部、午後の部とも用意した席は満席。親子連れ、家族連れがほとんど。絵本の小ささから人数的にはこれがマックスだったが、みなさん喜んでいるようだった。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

<コンテンツ部 清水崇義>

選んだ本がウクライナの民話で季節的にはぴったりの選定だった。次から次へと出てくる動物に子どもたちはワクワクしながら聞き入っていた。

<コンテンツ部 窪田英一郎>

読む本の選定は考える余地があるかも。参加者の年代がバラバラのためより小さい子どもを想定した絵本の選定が望ましい。ただ、事業としてはテレビアナウンサーへの親近感もアップできるためいい催し。

<樺山夏帆アナウンサー>

「てぶくろ」には複数の登場人物が出てきて、それぞれセリフも多いので子どもたちが喜んでいたように思う。絵も、「増えたね」「誰と誰がいるかな」「次は誰が出てくるかな」など子どもたちに呼びかけやすかった。

<井出一崇アナウンサー>

読み聞かせの経験は初めてで不安もあったが、しっかり聴いてもらえるよう丁寧に、そして感情豊かに読むよう心がけました。多くの親子連れの方に聴いていただき、子どもたちにも喜んでもらえたようで、放送業界の CSR 活動の一環として、今後も続けていきたいと思いました。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

＜保護者の感想＞

- ・聞き取りやすく楽しかった。
- ・親子で絵本を聞くのが楽しかった。
- ・井出アナウンサーは声が大きくて聞き取りやすかった。
- ・もっと参加型なら楽しかった。

＜子どもたちの感想＞

- ・アナウンサーが語り掛けてくれるのが面白かった。
- ・話の内容が面白かった。
- ・参加型で楽しかった。